

事務事業名 愛護動物対策事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1945

施策：	08	快適な生活環境の促進	財務コード	01040106-16-318
基本事業：	02	ペット飼育の適正化	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	ペット、小動物に関する苦情・トラブル・事故件数		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和04年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
地域猫活動団体等			飼い主のいない猫の繁殖や糞尿による被害等を防止するため、地域住民のボランティア等を中心とした活動グループが行う不妊手術や餌の管理、排せつ物の処理等の活動を支援する。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
飼い主のいない猫の過剰繁殖や糞尿による被害等を減らし、猫に関する苦情・トラブルを減らす。また、将来的には、地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指す。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
猫に関する苦情・トラブル件数		件	56	40	50	50			
5. コスト									
事業費		計	千円	522	1,762	1,866	1,866		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円	252	300	315	315		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他 一般	千円	270	1,462	1,551	1,551	0	
正職員人工数		人工	0.5	0.5	0.5				
正職員人件費		千円	3,908	4,012	4,191				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,430	5,774	6,057	1,866			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		猫に関する苦情・トラブル件数は、前年度から16件減少し40件でした。動物基金の手術券、県補助金を活用した不妊去勢手術の支援等に加えて、令和6年度から市独自で地域猫活動に対する支援を開始したことから、地域猫活動を行う地域が増え、地域内でトラブルを解決しているものと考えられます。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
福岡県地域猫活動支援事業補助金交付要綱が見直され、令和3年度から不妊手術費用の補助割合が全額から半額になった。また、数年後には補助金が廃止される予定のため、市の財政的負担が大きくなる。令和6年度から筑紫野市地域猫活動団体補助金交付要綱を施行。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
平成26年度から福岡県による地域猫活動支援事業が開始。飼い主のいない猫の過剰繁殖や糞尿による被害、多頭飼育崩壊など市に寄せられる相談が増加傾向にある。									